

入間市公共施設マネジメント白書 (概要版)



令和7年3月

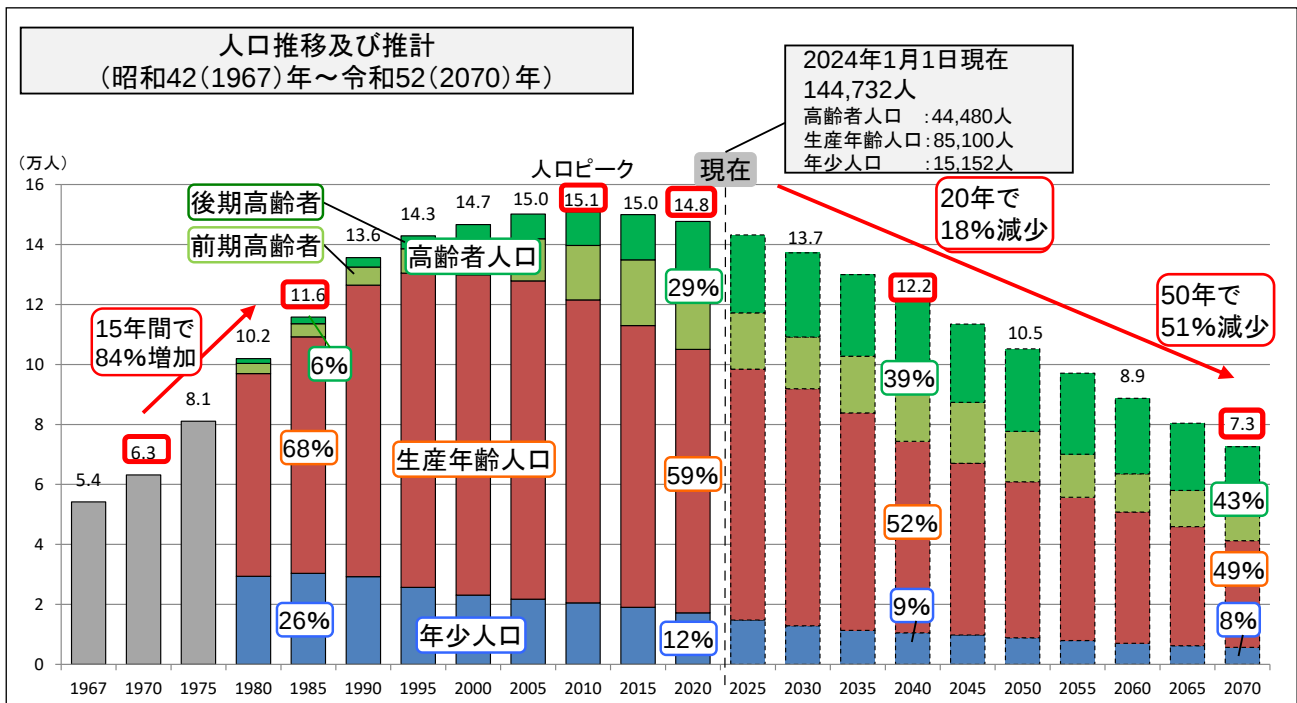
入間市

1 市政の状況

1. 人口状況

- 総人口は、平成 22（2010）年をピークに減少に転じています。
- 生産年齢人口比率も平成 22（2010）年をピークに減少し、高齢化が一気に進行する傾向になっています。
- 将来人口の規模、構成の大きな変化は、公共施設サービスの需要量と内容に大きな影響を与えるものと考えられ、公共サービスに対するニーズの変化への適切な対応が必要になります。

図表 人口階層別の人口推移及び将来人口推計



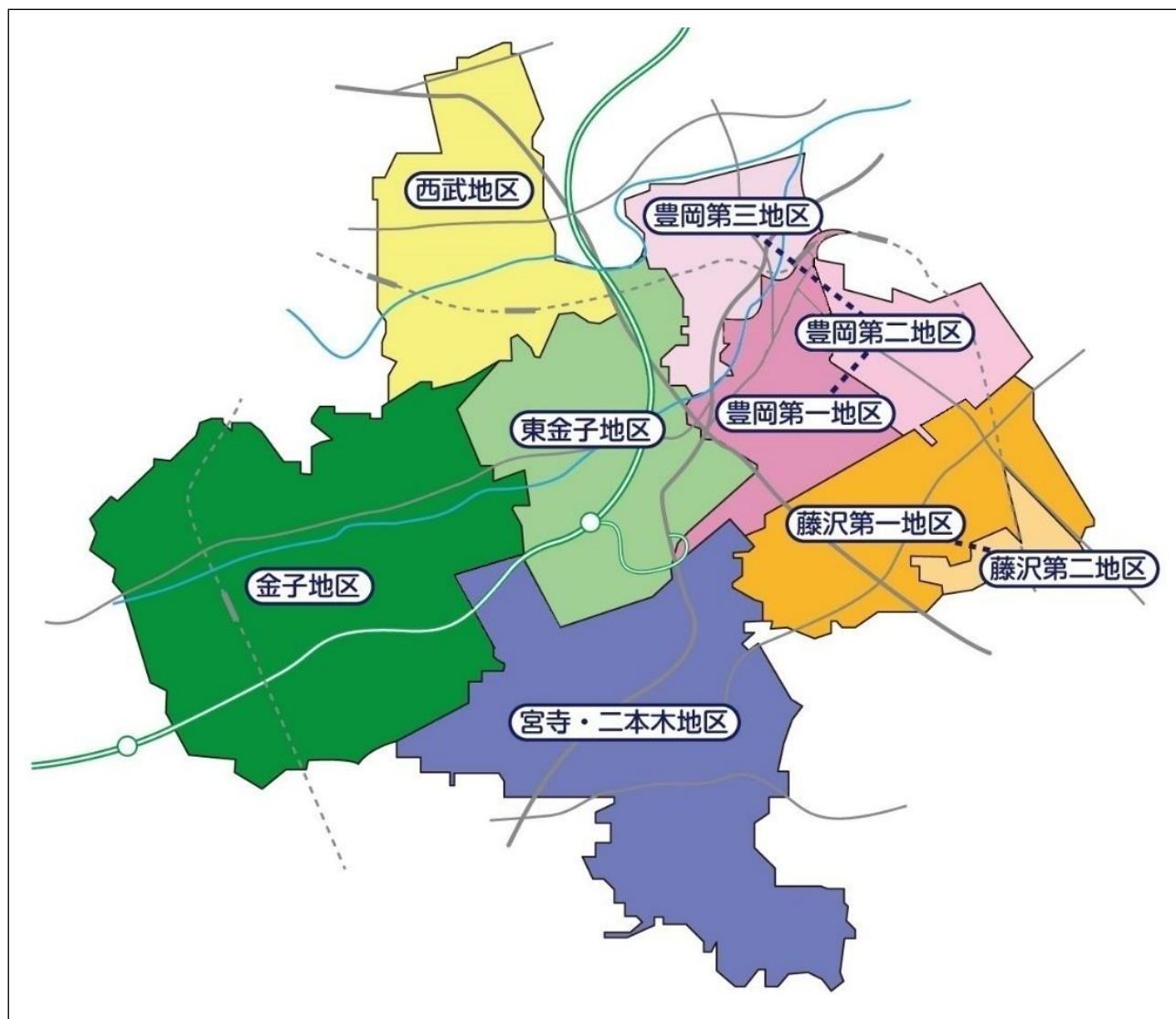
出典：「埼玉県町（丁）字別人口調査結果報告」（外国人含む）（各年1月1日）
「入間市人口推計」（令和2年3月時点トレンド変更版）

2. 地域状況

(1) 地域区分

- 地域区分は、生活圏域として分けられる9つの地域（豊岡第一、豊岡第二、豊岡第三、東金子、金子、宮寺・二本木、藤沢第一、藤沢第二）に分け、公共施設の整備状況等を整理しています。

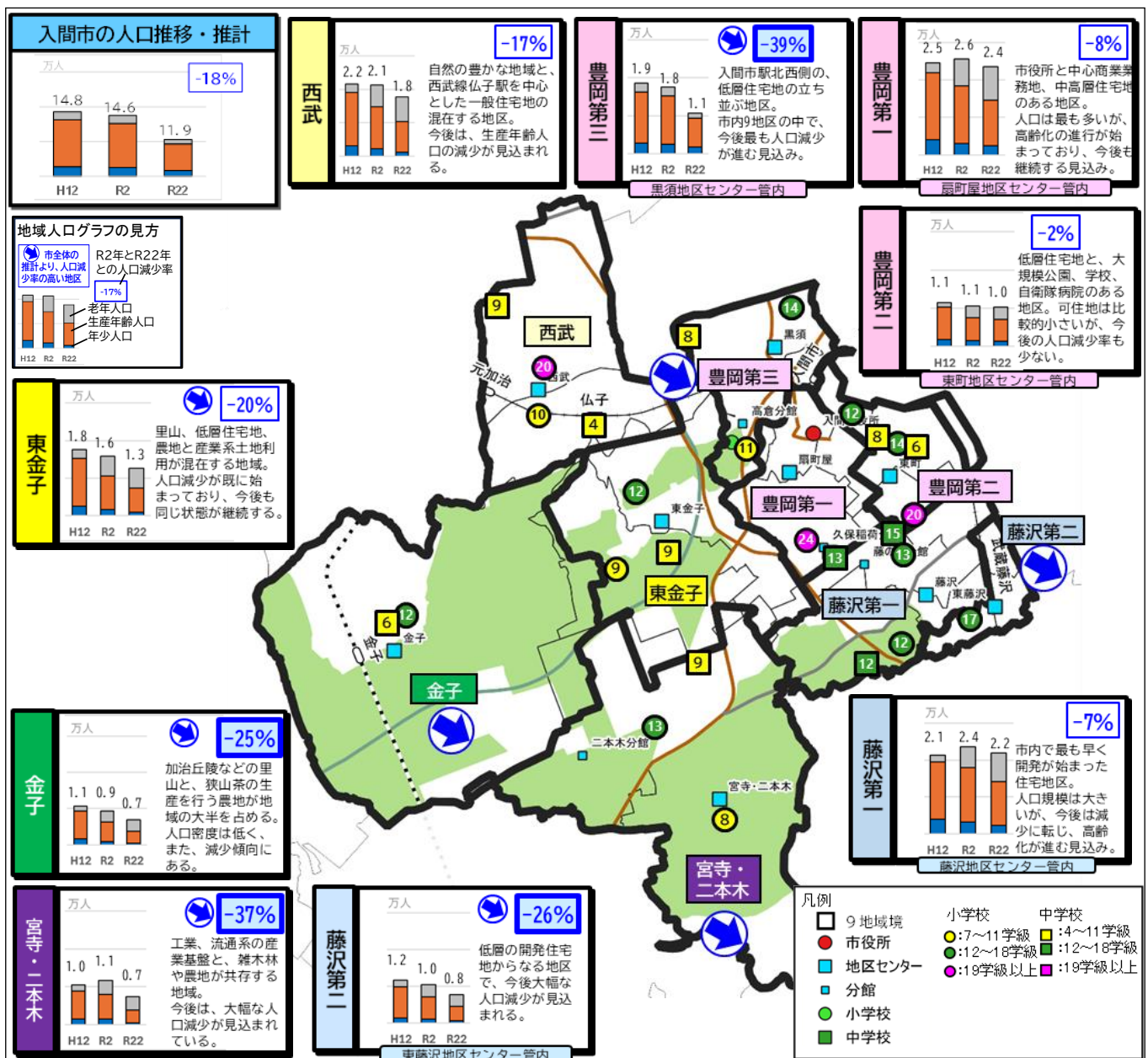
図表 地域区分



(2) 地区別人口の変化

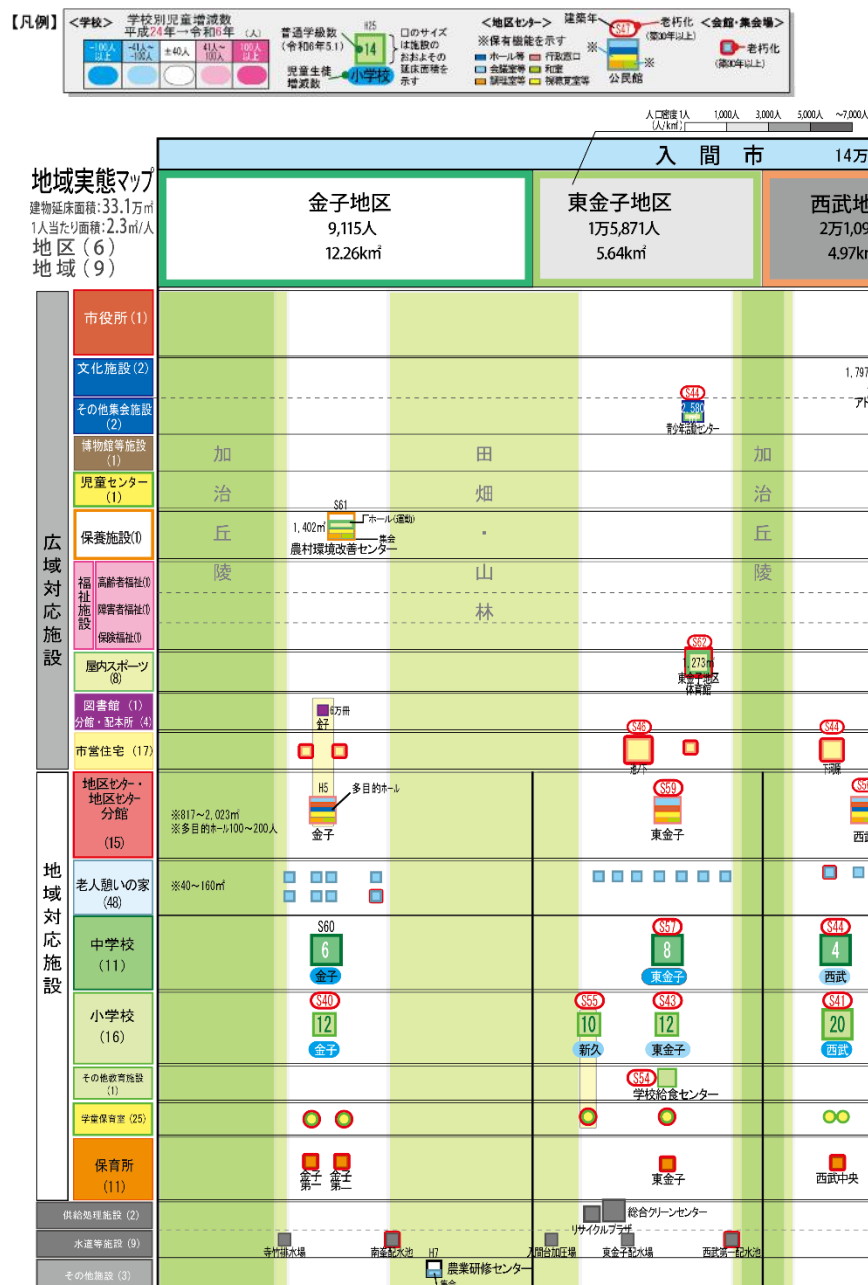
- 人口減少が最も大きい地区が豊岡第三地区で 39%減、次いで宮寺・二本木地区が 37%減、藤沢第二地区が 26%減となっています。
- 地区によって人口変化の状況が異なっていることから、地域の状況に応じた公共施設マネジメントが求められます。

図表 地区別人口の変化



（３）地域実態マップ

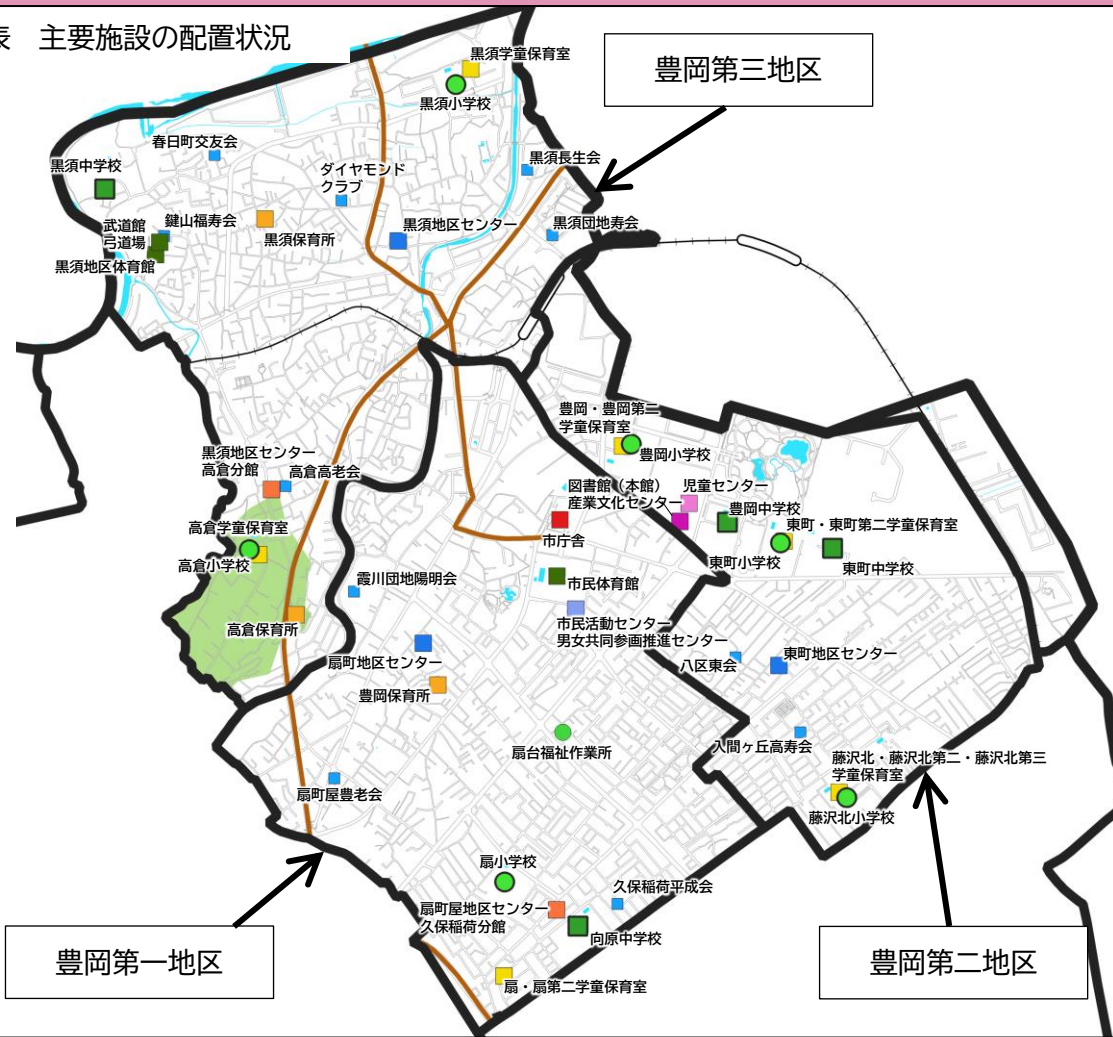
- 令和 5(2023)年 4 月に、地区公民館 13 館、支所 5 か所、出張所 2 か所、地域包括支援センター 9 か所の施設を 9 地区センター・4 分館へ再編しました。
- 小学校への複合化や学童保育室の増設を実施しました。
- 耐震性能不足の市民会館を閉鎖。新たな場所での新設を検討しています。



(4) 地区別主要施設配置状況

豊岡第一地区、豊岡第二地区、豊岡第三地区

図表 主要施設の配置状況

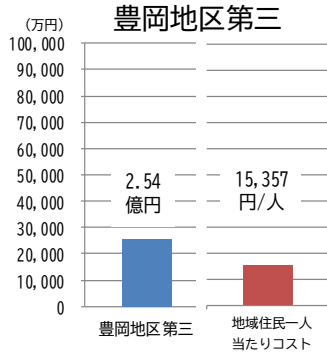
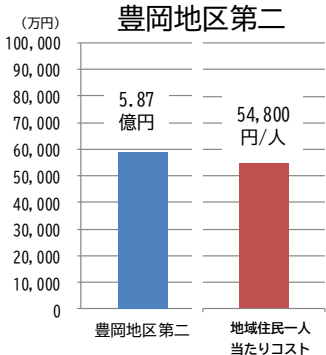
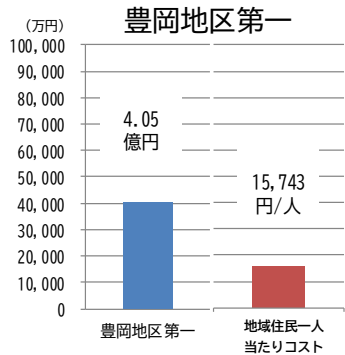


	合計	第一	第二	第三
面積 (km ²)	7.33	2.87	1.96	2.50
人口 (人)	52,992	25,726	10,710	16,556
人口密度 (人/km ²)	7,229	8,964	5,464	6,622

	合計	第一	第二	第三
延床面積 (㎡)	139,755	54,251	55,778	29,726
1人当りの保有量 (㎡/人)	2.64	2.11	5.21	1.80

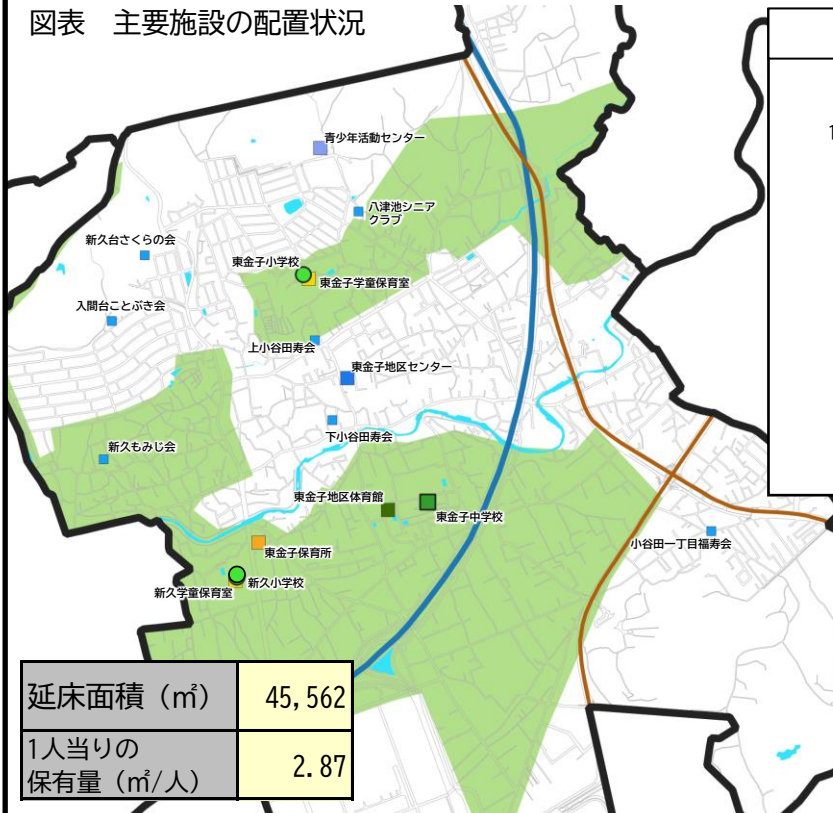
※人口：令和6（2024）年4月

主要施設トータルコスト



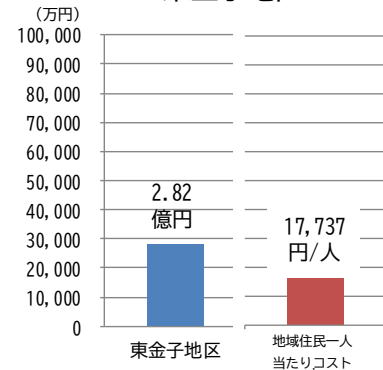
東金子地区

図表 主要施設の配置状況



主要施設トータルコスト

東金子地区



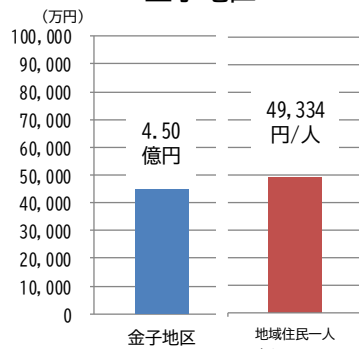
面積 (km ²)	5.87
人口 (人)	15,871
人口密度 (人/km ²)	2,704

※人口：令和6年4月

金子地区

主要施設トータルコスト

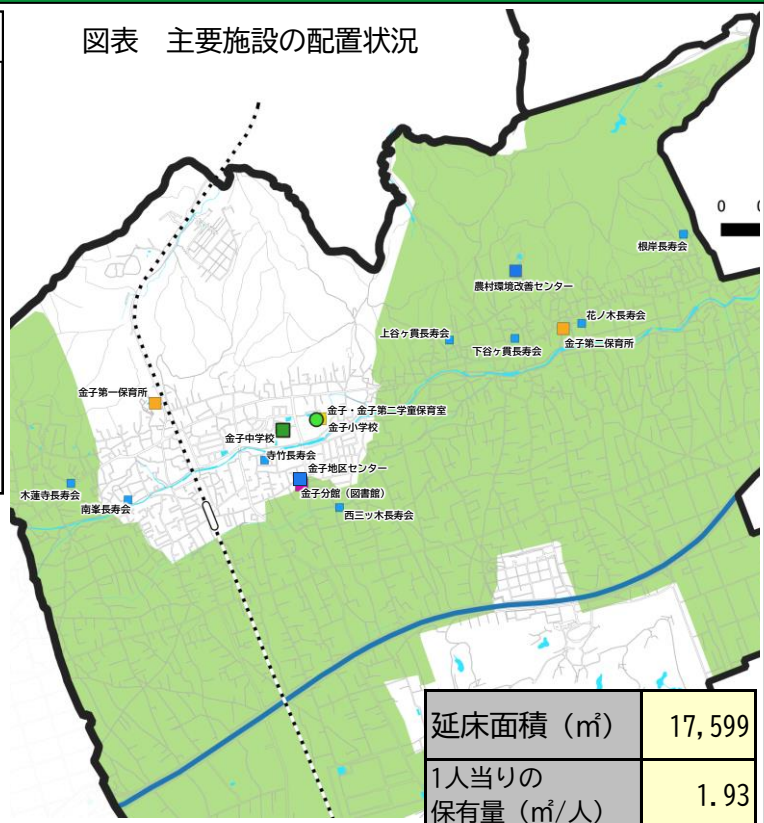
金子地区



面積 (km ²)	12.34
人口 (人)	9,115
人口密度 (人/km ²)	739

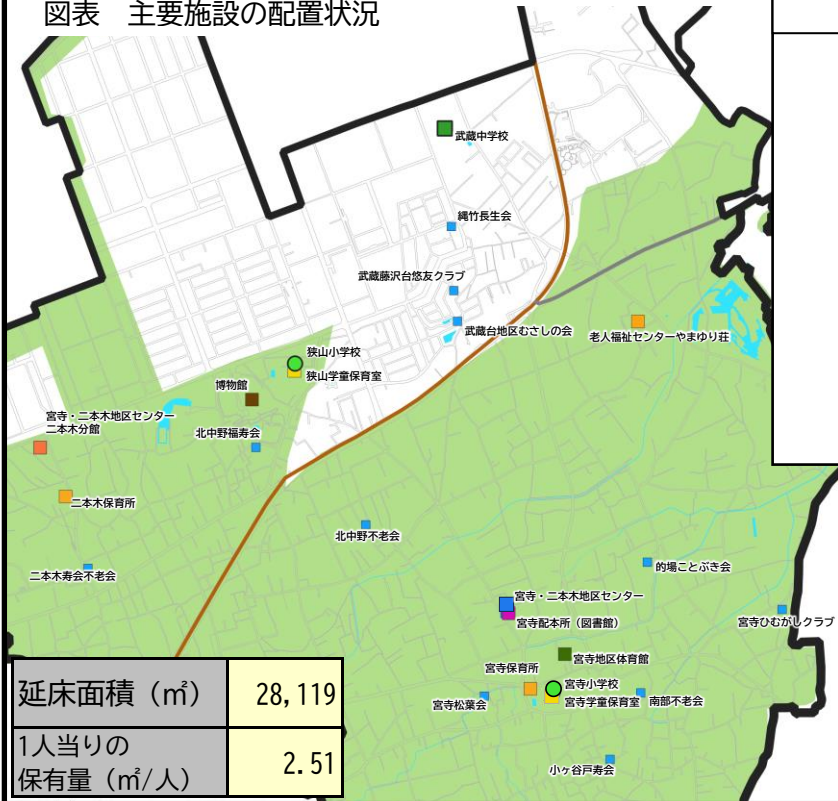
※人口：令和6年4月

図表 主要施設の配置状況



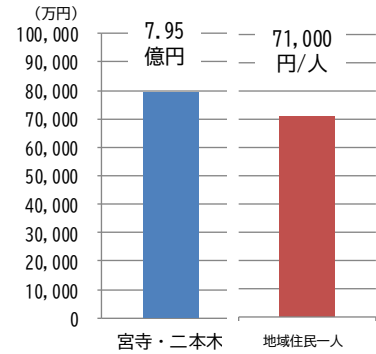
宮寺・二本木地区

図表 主要施設の配置状況



主要施設トータルコスト

宮寺・二本木地区

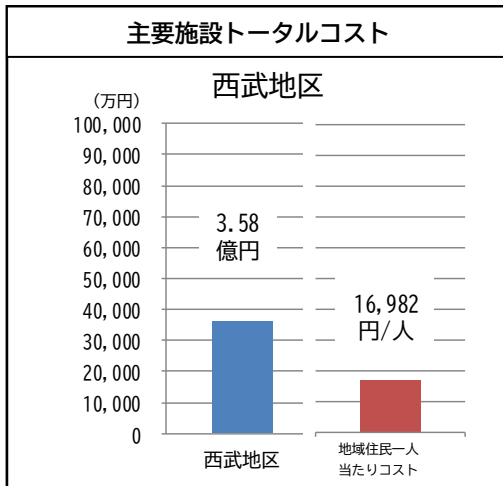


面積 (km ²)	9.35
人口 (人)	11,202
人口密度 (人/km ²)	1,198

※人口: 令和6年4月

西武地区

主要施設トータルコスト



面積 (km ²)	4.95
人口 (人)	21,094
人口密度 (人/km ²)	4,261

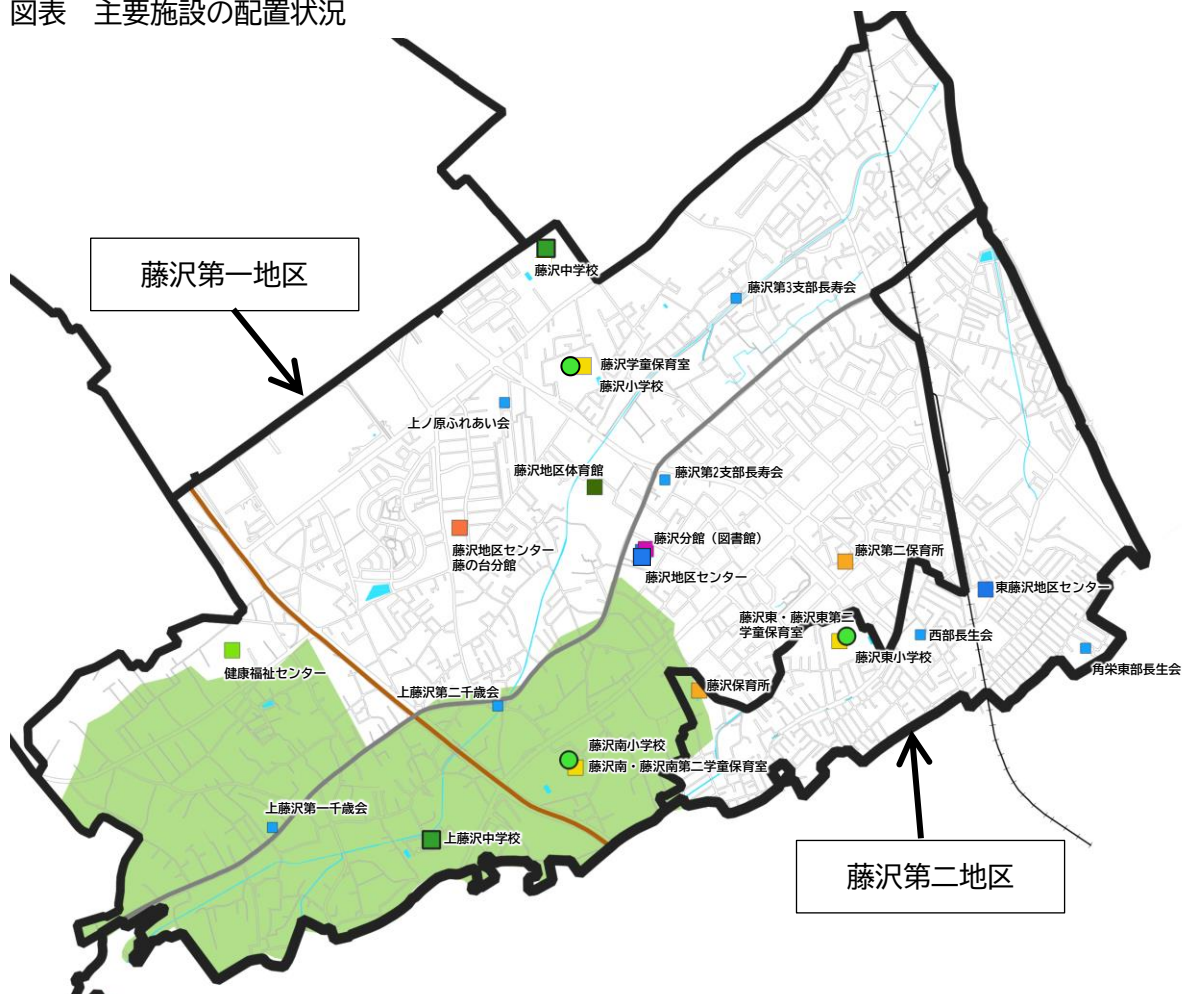
※人口: 令和6年4月

図表 主要施設の配置状況



藤沢第一地区、藤沢第二地区

図表 主要施設の配置状況

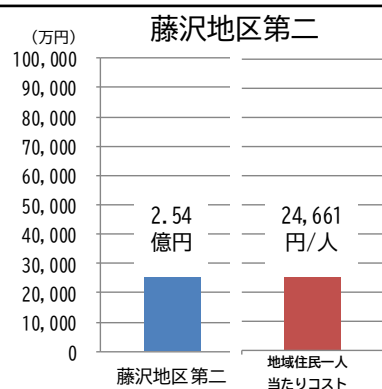
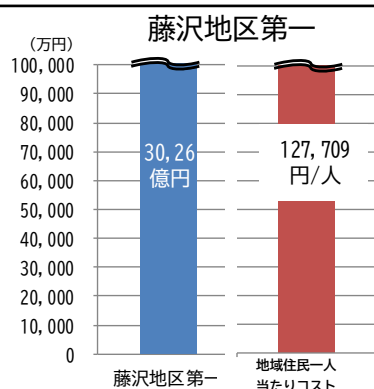


	合計	第一	第二
面積 (km ²)	4.85	3.99	0.86
人口 (人)	33,988	23,695	10,293
人口密度 (人/km ²)	7,008	5,939	11,969

	合計	第一	第二
延床面積 (m ²)	52,138	43,085	9,053
1人当りの保有量 (m ² /人)	1.53	1.82	0.88

※人口：令和6(2024)年4月

主要施設トータルコスト

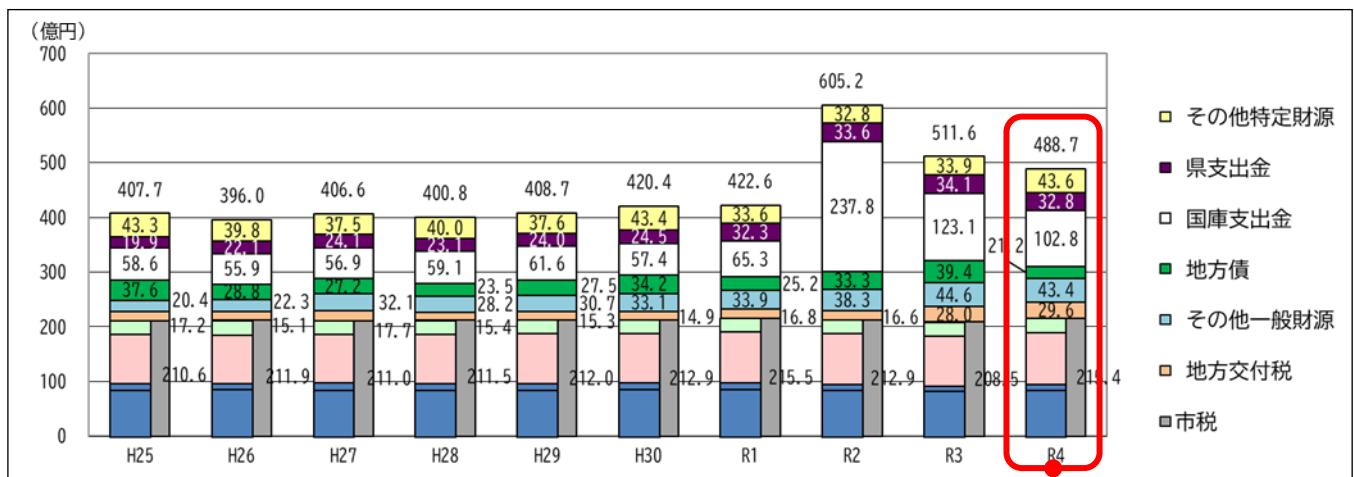


3. 財政状況

(1) 歳入

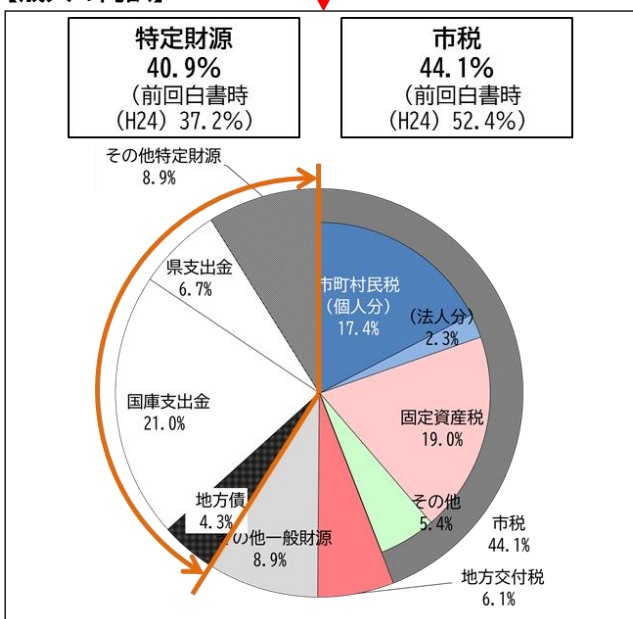
- 普通会計の歳入規模はおおむね 400 億円で推移しています。
- 令和 2、3 年度を除くと、使途が特定される「特定財源」、市が自由な裁量を持つ「一般財源」共に増加傾向にあります。
- 市税の割合は、前回白書時の平成 24（2012）年度の 52.4%から、令和 4（2022）年には 44.1%に減少しています。

図表 歳入の推移

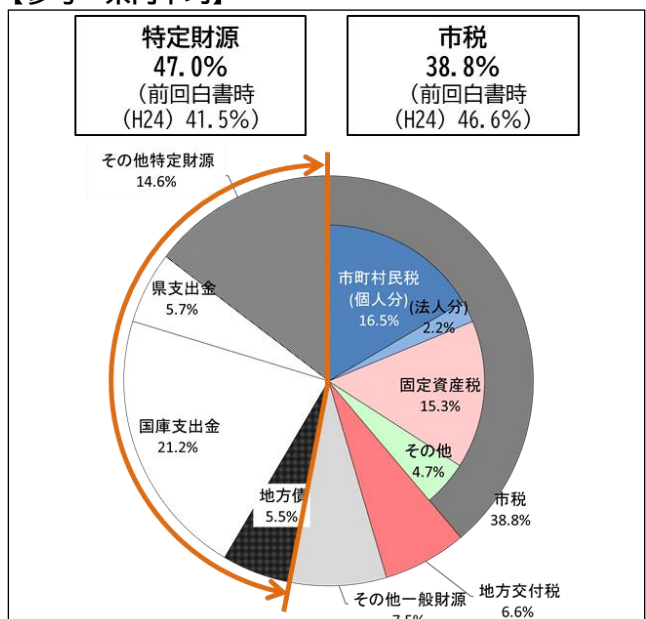


(出典：平成 25 年度～令和 4 年度 決算カード)

【歳入の内訳】



【参考：県内平均】

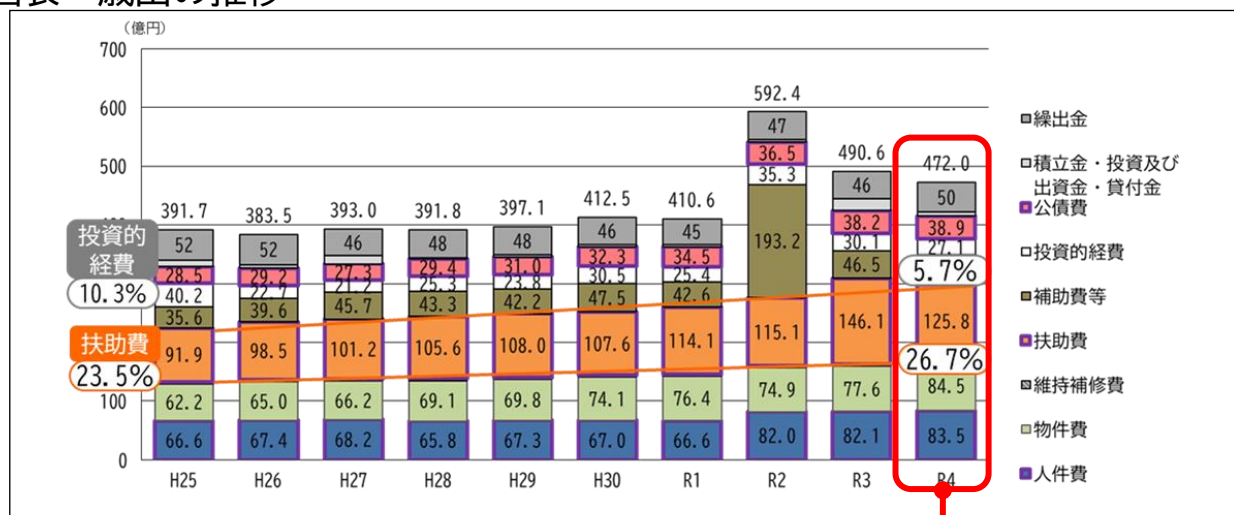


(出典：令和 4 年度決算カード)

(2) 歳出

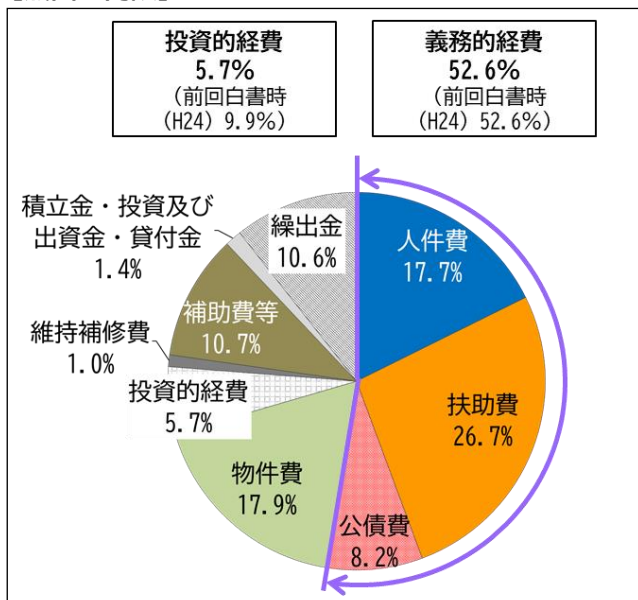
- 支出が義務的で任意では削減できない「義務的経費」は、令和 4（2022）年度には 248 億円になっており、今後も、高齢化の一層の進展や少子化対策等による増加が見込まれるため、「義務的経費」の増大が予想されます。
- 今後は、公共施設等に対する財源をいかに確保するかが課題になります。

図表 歳出の推移

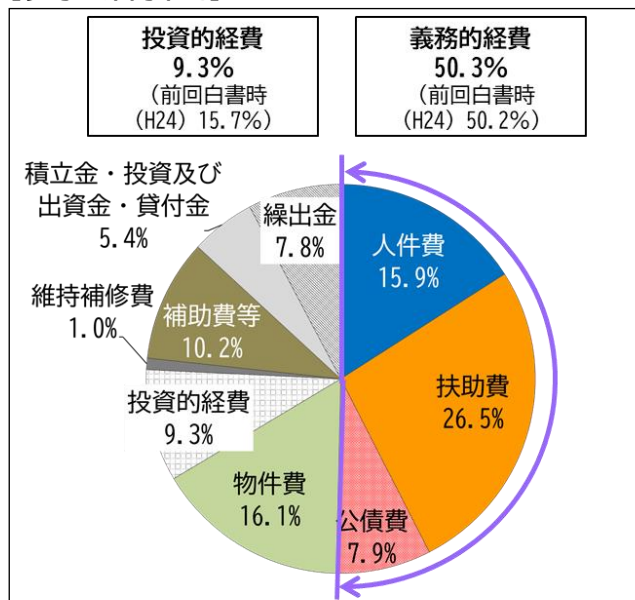


(出典：平成 25 年度～令和 4 年度 決算カード)

【歳出の内訳】



【参考：県内平均】



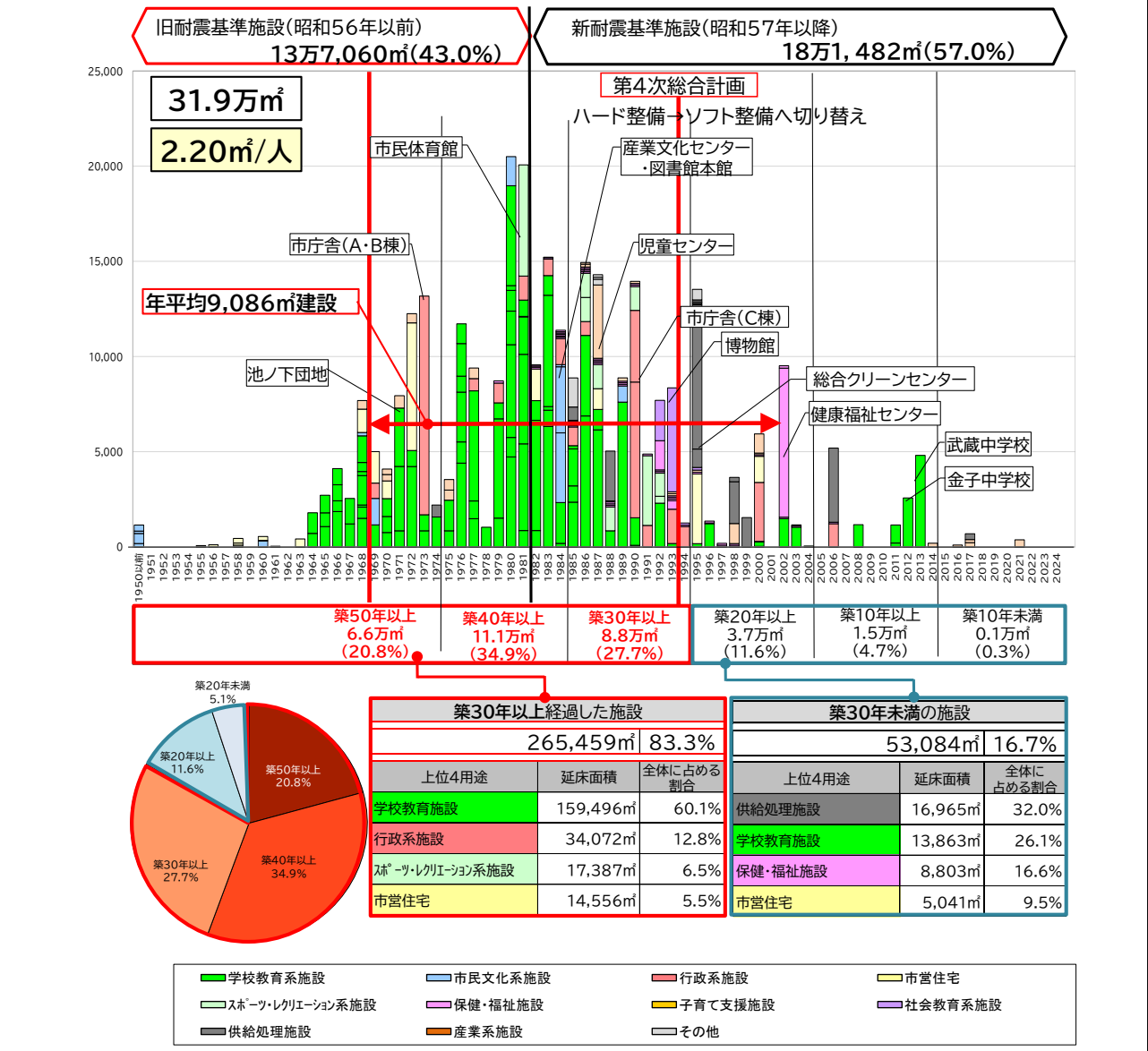
(出典：令和 4 年度決算カード)

4. 保有する資産の状況

(1) 公共施設の築年別整備状況

- 本市が保有する建物の延床面積 33 万 590 m²のうち、200 m²未満の付属屋等を除いた面積は31 万 8,542 m²です。このうち、旧耐震基準で建設された建物は 13 万 7,060 m² (43%)、新耐震基準で建設された建物は 18 万 1,482 m² (57%) となっています。
- 築 30 年以上経過した建物が約 26.5 万m²で、その内、学校教育関連施設が約 15.9 万m² (約 60%) を占めています。

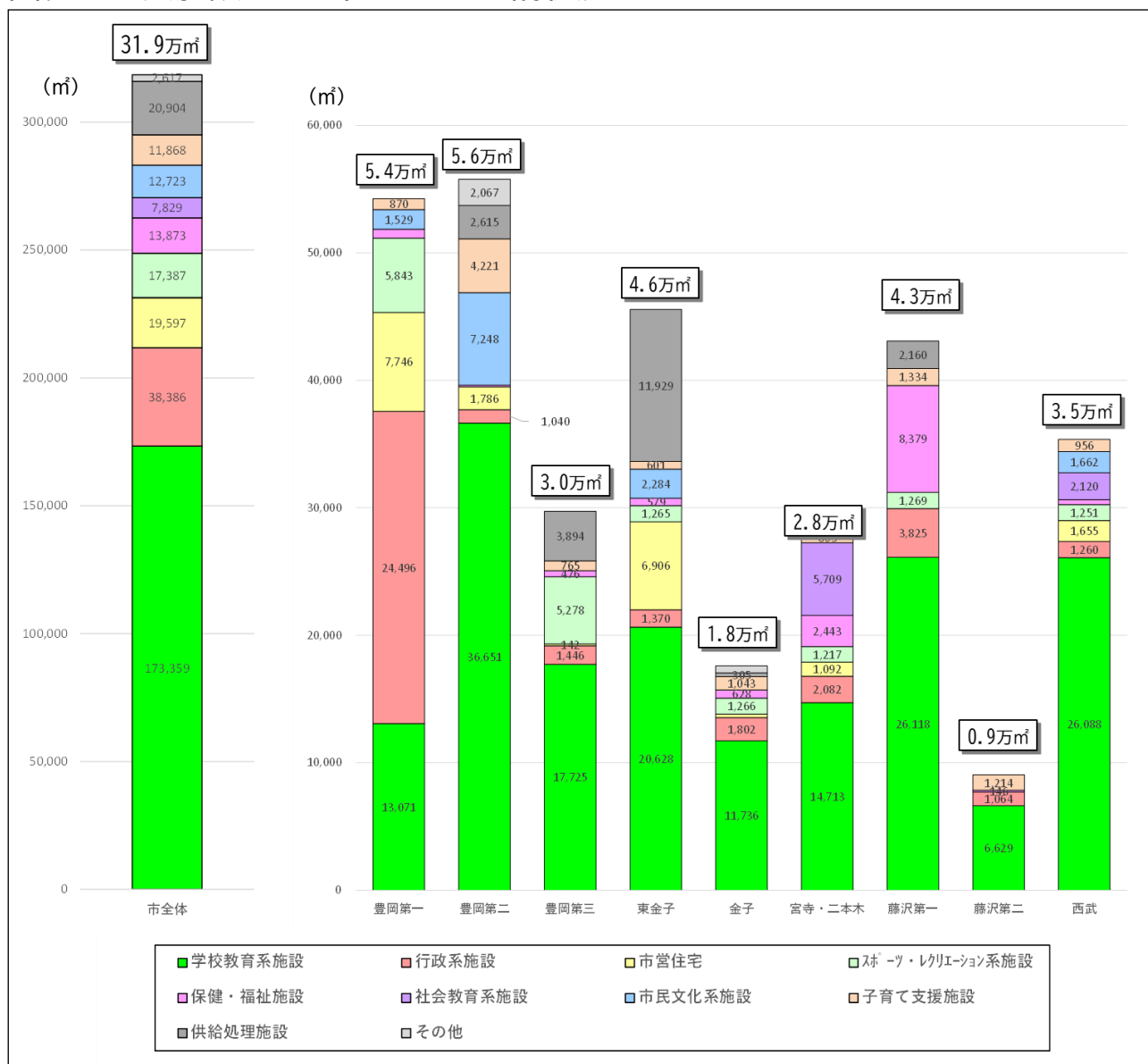
図表 公共施設の築年別整備状況



(2) 公共施設の 9 地区ごとの整備状況

- 豊岡第一地区・豊岡第二地区に延床面積約 5.4 万㎡（17%）と 5.6 万㎡（17%）の公共施設が集まっており、豊岡地区で見ると約 14.0 万㎡（44%）と多くの公共施設が立地しています。
- 建物用途別にみると、地区センターが 9 地区に配置されているため、すべての地区に行政系施設が配置されています。また、学校教育施設もすべての地区に配置されています。そのほか、子育て支援施設等はどの地区でも比較的近い割合で配置されています。

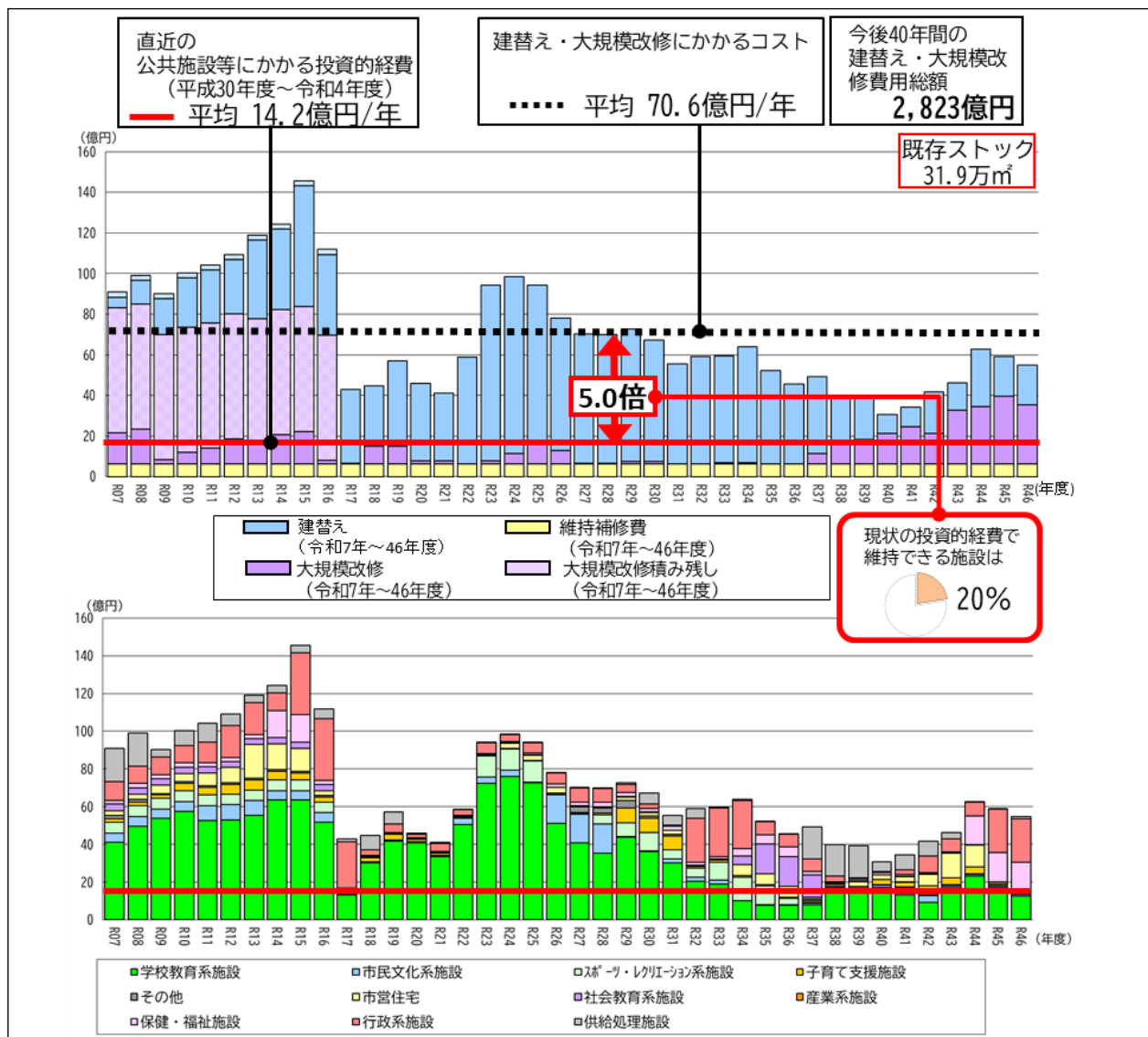
図表 公共施設の 9 地区ごとの整備状況



5. 施設の単純更新・改修に係るコスト試算

- 本市が現在保有する公共施設の規模をそのまま維持すると仮定した場合、建替え・大規模改修にかかるコストは、令和7年度から令和46年度までの40年間で、総額2,823億円（年平均70.6億円）かかる見込みとなっています。
- この金額は、本市の過去5年間の投資的経費の平均額14.2億円の約5倍となっており、今後の公共施設マネジメントにより乖離の縮小が求められます。

図表 今後の建替え・改修にかかるコスト試算



2 入間市公共施設マネジメント白書のまとめと総合管理計画への展開

- 公共施設等の適正な維持管理と整備計画の推進を図るためには、マネジメントに必要な情報の収集・整理・共有と、全体の予算編成状況を踏まえた計画の立案・見直しが必要です。
- 今後予定されている総合管理計画の改定においては、以下の視点をもとに、より具体化し実効性の高い計画の策定につなげます。

